

令和 2 年 6 月 15 日現在

機関番号：82622

研究種目：基盤研究(B)（海外学術調査）

研究期間：2016～2019

課題番号：16H05668

研究課題名（和文）在外松方コレクション資料の学術調査と美術品来歴研究

研究課題名（英文）Scientific Surveys of Overseas Matsukata Collection Materials and Artwork Provenance Research

研究代表者

馬淵 明子（Mabuchi, Akiko）

独立行政法人国立美術館国立西洋美術館・その他部局等・館長

研究者番号：30114656

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は日本人実業家・松方幸次郎が20世紀初頭のヨーロッパで収集した西洋美術コレクションの全体像の解明に取り組み、在外資料の調査を重ねて多くの新資料を発掘し、松方コレクション研究を大きく前進させた。研究の成果は『松方コレクション 西洋美術全作品』全2巻、「松方コレクション展」とその図録、そして国際シンポジウム「カタログ・レゾネ - デジタル時代のアーカイヴとドキュメンテーション」等に反映している。また、収集した資料・情報にもとづいて松方コレクション作品データベースを構築し、さらなる研究に展開させるための基盤も整えた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来の作家・作品研究の枠組みにとどまらず、来歴研究の手法を積極的に採り入れながら、現在、国内外で関心が高まっている松方コレクションの形成過程に光をあてた点に学術的な独創性がある。本研究を通じて見出された多くの新資料や新事実は、松方コレクション研究に新知見をもたらすと同時に、国際的潮流から遅れを取っていた日本における来歴研究の進展にも貢献することができた。さらに、調査研究で得られた情報を市販の出版物や展覧会、シンポジウム等を通じて広く社会に還元することができたことも本研究の大きな特色であり、成果といえるだろう。

研究成果の概要（英文）：Kojiro Matsukata was a Japanese businessman who amassed a collection of Western art during the early 20th century. Through several surveys of the Matsukata collection materials overseas we uncovered new materials which clarify the collection's entire scope and greatly advance its study. Our results were presented in the two-volume Matsukata Collection catalogue raisonne, the Matsukata Collection exhibition and its catalogue, and the international symposium, The Catalogue Raisonne: Archives and Documentation in the Digital Age. We built a Matsukata Collection artwork database from the collected materials and information as the basis for further research on this subject.

研究分野：西洋近代美術史

キーワード：松方コレクション 来歴研究 画商 フランス近代美術 英国近代美術 アーカイヴ

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

#### 1. 研究開始当初の背景

本研究の背景には、戦争による文化財略奪等をもたらした欧米諸国における来歴研究の興隆、そしてこれに伴う画商アーカイヴズなどの記録公開の動きがある。一方、本研究が対象とする松方コレクションは日本人実業家・松方幸次郎が20世紀初頭のヨーロッパで収集した美術品群からなるもので、第二次世界大戦の「接收」という負の歴史を持つ。この意味で欧米諸国の来歴研究進展の文脈と軌を一にする研究素材でもあり、海外からの注目も高く、研究の進展が望まれていた。

#### 2. 研究の目的

本研究は松方幸次郎が20世紀初頭のヨーロッパで収集した西洋美術コレクションの全体像の解明に取り組むものである。在外資料調査を通じて個々の作品がいつ誰から入手され、その後、誰の手に渡っていったのか、作品の来歴を明らかにしつつ、調査研究で得られた新知見を蓄積・総合して国内外に発信することを目指した。また、来歴研究は近年の世界的な潮流であるが、日本ではまだその手法が浸透していないことから、本研究がこの分野の進展に貢献していくことも狙いとした。

#### 3. 研究の方法

従来の松方コレクション研究は主に日本所在の文献に基づいており、海外資料は断片的にしか参照されてこなかった。本研究では、作品収集の地であるヨーロッパ、および記録の流出先である米国に調査の範囲を拡大し、各地の文書館、美術館、美術研究所、画商アーカイヴズ等において作品売買の記録(帳簿、領収書、書簡等)を中心とした資料調査を進めた。さらに作品そのものに残る書き込みや画廊ラベルなどの情報も総合し、資料分析により得られたデータは松方コレクション作品データベースで管理した。

#### 4. 研究成果

(1) 本研究は、従来の作家・作品研究の枠組みにとどまらず、来歴研究の手法を積極的に採り入れて松方コレクションの形成過程に新たな光をあてた点に学術的な独創性があった。調査の過程で発掘した多くの新資料や新事実は松方コレクション研究に新知見をもたらすとともに、国際的潮流から遅れを取っていた日本における来歴研究の進展への貢献にも結びついた。

(2) 本研究により収集した資料・情報にもとづいて松方コレクション作品データベースを構築し、さらなる研究に展開させるためのプラットフォームを整えた。なお、国立西洋美術館が収蔵する松方コレクション由来の作品については、すでに公開中の収蔵作品データベースにも研究成果を還元し、各作品の来歴データとして和英二か国語で国内外に発信した。

(3) 本研究の成果は『松方コレクション 西洋美術全作品』第1巻 絵画(東京:国立西洋美術館、2018)、同第2巻 彫刻・素描・版画・工芸その他(同、2019)としてまとめ、国内外の図書館・美術館に無償提供するとともに、外部出版社と連携し書籍として一般流通するように努めた。

(4) 本研究計画をきっかけに生まれたパリのウィルデンスタイン研究所との研究協力体制

のもと、2019年7月に国際シンポジウムを共同開催し、デジタル時代におけるカタログ・レゾネの重要性、およびそのなかで果たしているアーカイブ資料の役割を考察した。このシンポジウムのオンライン報告書を国立西洋美術館のリポジトリに載せ、和英二か国語で国内外に発信した。

(5) 本研究により得られた成果を活用し、2019年6月から9月にかけて国立西洋美術館にて「国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展」を実施して、広く一般に向けて研究成果の還元を目指した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 馬淵明子	4. 巻 1
2. 論文標題 口ダンの《地獄の門》の鑄造をめぐる物語	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展	6. 最初と最後の頁 27-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳岡めぐみ	4. 巻 1
2. 論文標題 松方コレクション 百年の流転	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展	6. 最初と最後の頁 11-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 1
2. 論文標題 重役私財提供と松方コレクション売立	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展	6. 最初と最後の頁 39-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 vol.57 no.3
2. 論文標題 美術館で専門図書館が担う役割は何か：国立西洋美術館研究資料センターの事例から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代の図書館（日本図書協会）	6. 最初と最後の頁 160-166
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 ウェブサイト
2. 論文標題 日本の美術館はコレクション情報をどう扱っていくべきか(シリーズ:これからの美術館を考える(10))	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術手帖(株式会社BT Company)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子、陳岡めぐみ	4. 巻 1
2. 論文標題 ミュージアム・ドキュメンテーションと『松方コレクション 西洋美術全作品』編纂	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際シンポジウム報告書 カタログ・レゾネ デジタル時代のアーカイヴとドキュメンテーション	6. 最初と最後の頁 70-88
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 馬淵明子	4. 巻 2018年6月号(No.417)
2. 論文標題 発見された大画面「睡蓮」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 美術の窓 モネから学ぶ風景画	6. 最初と最後の頁 24-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 2019年1月16日号
2. 論文標題 日本の美術情報国際発信の夜明け 美術作品や文献をめぐる3つのプロジェクト	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アーツスケープ	6. 最初と最後の頁 ウェブサイト
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 vol. 54, no. 3 (No. 609)
2. 論文標題 分科会3「世界とつながるコレクション情報」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 博物館研究	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 35
2. 論文標題 美術作品の来歴を物語る記録資料：『デジタルアーカイブ』の国際化に向けて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 美術フォーラム21	6. 最初と最後の頁 119-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳岡めぐみ (山梨俊夫責任編集)	4. 巻 3
2. 論文標題 Gallery Talk 美術史と画商	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Art Gallery テーマでみる世界の名画 風景画 自然との対話と共感	6. 最初と最後の頁 92-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳岡めぐみ (小池寿子責任編集)	4. 巻 4
2. 論文標題 Gallery Talk 額縁の意味	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Art Gallery テーマで見る世界の名画 宗教画 聖なるものへの祈り	6. 最初と最後の頁 92-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口雅子	4. 巻 21号
2. 論文標題 ロンドンに残された松方コレクション：パンテクニカン倉庫保管作品をめぐる資料調査報告	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国立西洋美術館研究紀要	6. 最初と最後の頁 5-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 陳岡めぐみ	4. 巻 19号
2. 論文標題 グービル社の1世紀	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 西洋美術研究	6. 最初と最後の頁 127 - 139
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳岡めぐみ（共著）	4. 巻 19号
2. 論文標題 「座談会 美術市場と画商」 「資料 文献リストと解題+画商関連情報」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 西洋美術研究	6. 最初と最後の頁 8-38、215-229
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計21件（うち招待講演 13件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 収蔵品管理システムを用いたカタログ・レゾネの編纂：『松方コレクション西洋美術全作品』を事例として
3. 学会等名 アート・ドキュメンテーション学会第12回秋季研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 松方コレクション 流転の百年
3. 学会等名 日本女子大学生涯学習センター2019年公開講座・川崎市教育委員会連携事業（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 松方コレクション 運命の百年
3. 学会等名 第996回桐華倶楽部5月例会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 パネルディスカッション「アートコンテンツ活用の将来像：その課題と解決の方向性」
3. 学会等名 アートコンテンツ活用シンポジウム「デジタルアーカイブで拓くアートの未来」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳岡めぐみ
2. 発表標題 La collection Matsukata: Une Odysee d'un Siecle
3. 学会等名 国際シンポジウム「近代美術コレクションの形成と移動 - 歴史研究とデータベース活用」戦略的パートナーシッププロ大学プロジェクト（パリ・グランゼコール群）（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 陳岡めぐみ
2. 発表標題 松方コレクション 百年の流転
3. 学会等名 国立西洋美術館講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口雅子、陳岡めぐみ
2. 発表標題 ミュージアム・ドキュメンテーションと『松方コレクション 西洋美術全作品』編纂
3. 学会等名 国際シンポジウム「カタログ・レゾネ デジタル時代のアーカイヴとドキュメンテーション」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 西洋美術コレクションを作った二人の明治人 林忠正と松方幸次郎
3. 学会等名 日本女子大学生涯学習センター特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 Current Status and Future Prospects of The Art Library Consortium (ALC) of Japan
3. 学会等名 8th International Conference of Art Libraries (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 国立西洋美術館研究資料センター
3. 学会等名 第20回図書館総合展フォーラム「ミュージアムの未来と専門図書館：ミュージアムライブラリーの機能と使命を問う」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 海外事例に学ぶ美術アーカイブズ検索手段のあり方
3. 学会等名 第33回学会員研修会「美術館のアーカイブズ資料の可視化とさらなる活用に向けて」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 北斎とジャポニスム
3. 学会等名 十文字学園女子大学文芸文化特講（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 北斎とジャポニスム
3. 学会等名 日本女子大学学術交流研究事業（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 女性たちはいかに描き、描かれたか
3. 学会等名 秋田県立近代美術館「ミューズ:まなざしの先の女性たち」記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 北斎とジャポニスム
3. 学会等名 学士会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 北斎はどのように西洋に知られたか
3. 学会等名 ジャポニスム学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口雅子
2. 発表標題 キャスリーン・サロモン氏講演「Broadening our horizons: the Getty Research Institute and the dissemination of art research information internationally」に対するコメント
3. 学会等名 平成29年度外国人芸術家・文化財専門家招へい事業キャスリーン・サロモン氏（ゲッティ研究所副所長）講演会（東京文化財研究所企画・主催）（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 陳岡めぐみ
2. 発表標題 松方コレクションと西洋美術館
3. 学会等名 港ユネスコ協会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 ジャポニズムの人物ネットワーク（パネルディスカッション）
3. 学会等名 ジャポニズム学会畠山シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 日本人コレクターの世界での役割 - 林忠正と松方幸次郎
3. 学会等名 東京商工会議所上野支部（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 馬淵明子
2. 発表標題 ル・コルビュジエと日本近代建築の価値について
3. 学会等名 伊賀市役所（招待講演）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 陳岡めぐみ 責任編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立西洋美術館	5. 総ページ数 377
3. 書名 国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展	

1. 著者名 陳岡めぐみ、川口雅子 編集	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立西洋美術館	5. 総ページ数 117
3. 書名 国際シンポジウム報告書 カタログ・レゾネ デジタル時代のアーカイヴとドキュメンテーション	

1. 著者名 渡辺晋輔、陳岡めぐみ 共著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 264
3. 書名 国立西洋美術館 名画の見かた	

1. 著者名 馬淵明子序文、川口雅子・陳岡めぐみ編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 国立西洋美術館（平凡社発売）	5. 総ページ数 390
3. 書名 松方コレクション 西洋美術全作品 第1巻 絵画	

1. 著者名 川口雅子・陳岡めぐみ編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立西洋美術館	5. 総ページ数 422
3. 書名 松方コレクション 西洋美術全作品 第2巻 彫刻・素描・版画・工芸その他	

1. 著者名 馬淵明子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 279
3. 書名 舞台の上のジャポニスム 演じられた幻想の 日本女性	

1. 著者名 ルース・バトラー / 馬淵明子 翻訳監修	4. 発行年 2016年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 601
3. 書名 ロダン 天才のかたち	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>国立西洋美術館HP：松方コレクション研究の最新成果『松方コレクション 西洋美術全作品』を出版  <a href="https://www.nmwa.go.jp/jp/information/whats-new.html">https://www.nmwa.go.jp/jp/information/whats-new.html</a>          国立西洋美術館ホームページ：ロンドンで焼失した松方コレクション作品に関する文書を発見  <a href="https://www.nmwa.go.jp/jp/information/pdf/20160905pantechinon.pdf">https://www.nmwa.go.jp/jp/information/pdf/20160905pantechinon.pdf</a>          国立西洋美術館ホームページ：記者発表資料（ルーヴル美術館で発見されたモネの大作《睡蓮 - 柳の反映》）  <a href="https://www.nmwa.go.jp/jp/information/pdf/20180301.pdf">https://www.nmwa.go.jp/jp/information/pdf/20180301.pdf</a>          国立西洋美術館出版物リポジトリ：国際シンポジウム報告書 カタログ・レゾネ デジタル時代のアーカイヴとドキュメンテーション  <a href="http://id.nii.ac.jp/1263/00000753/">http://id.nii.ac.jp/1263/00000753/</a>          美術手帖（シリーズ：これからの美術館を考える（10））：日本の美術館はコレクション情報をどう扱っていくべきか  <a href="https://bijutsutecho.com/magazine/series/s13/19640">https://bijutsutecho.com/magazine/series/s13/19640</a></p>
---

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	陳岡 めぐみ  (Jingaoka Megumi)  (50409702)	独立行政法人国立美術館国立西洋美術館・学芸課・主任研究員   (82622)	
研究分担者	川口 雅子  (Kawaguchi Masako)  (70392561)	独立行政法人国立美術館国立西洋美術館・学芸課・主任研究員   (82622)	